

中期経営計画2023

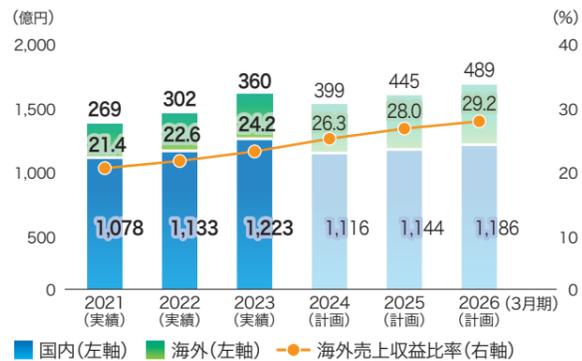
実績と中期計画

(単位: 億円)

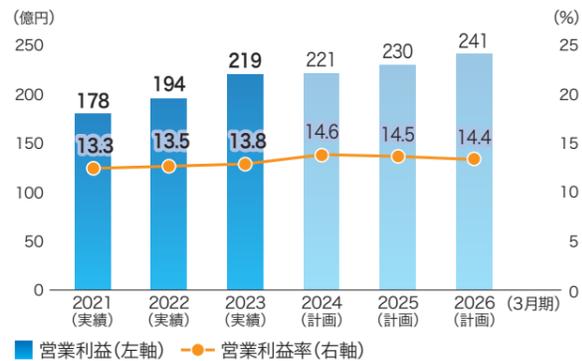
	2021年3月期 実績	2022年3月期 実績	2023年3月期 実績	2024年3月期 計画	2025年3月期 計画	2026年3月期 計画
国内売上収益	1,077	1,133	1,223	1,116*	1,144*	1,186*
海外売上収益	269	302	360	399	445	489
売上収益合計	1,347	1,435	1,583	1,515*	1,589*	1,675*
営業利益	178	194	219	221*	230*	241*
売上収益営業利益率	13.3%	13.5%	13.8%	14.6%*	14.5%*	14.4%*
国内売上前期比	—	105.1%	108.0%	91.3%	102.5%	103.7%
海外売上前期比	—	112.3%	119.2%	110.8%	111.5%	109.9%
利益前期比	—	109.0%	112.9%	100.9%	104.1%	104.8%

※JENSEN-GROUPとの合併契約によりアイナックス稲本は持分法適用関連会社となることから、2024年3月期以降の連結業績予想において、アイナックス稲本の業績は売上収益および営業利益に含めず、持分法による投資損益として税引前利益に含めています。

売上収益/海外売上収益比率



営業利益/営業利益率



2023年3月期の振り返り

2023年3月期の営業利益については、国内海外ともに、原材料価格の上昇や営業活動の活発化により経費は増加しましたが、増収効果や販売価格改定効果により増益しました。

国内については、機器販売事業で主力の小型貫流ボイラの販売やランドリー事業およびメンテナンス事業が堅調に推移しています。機器販売事業は、ボイラ及び関連機器、省エネ提案にともなう工事などが堅調に推移し、売上収益が前期比+4.9%となり、さらに価格改定効果の影響により増益となりました。メンテナンス事業においても、有償保守契約の契約期間延長にともなう契約数の増加や、省エネ等の提案活動の推進により売上収益が前期比+4.3%の増加となっています。ランドリー事業は、2022年4月に、海外製品を販売する(株)ヤブサメを連結子会社としたことによる販売力の強化、さらに新型コロナウイルス感染症も落ち着きつつあり経済活動が活発になったことで、お客様先の設備の稼働率上

昇による回復がみられ、売上収益は前期比 +32.9%となり、増収効果により増益となっています。

海外は、米州でのボイラ販売が堅調に推移したことや為替の影響により売上収益が増加し、売上収益は前期比+18.0%となりました。米州では販売店との連携強化や販売価格改定効果により売上収益が増加しています。メンテナンス事業は、有償保守契約の積極的な提案により契約件数、売上収益ともに増加し、売上収益前期比+23.3%となりました。中国は、ゼロコロナ対策による行動規制の影響で新工場の建築遅れや投資延期、市場の下落などの影響で営業活動が停滞し機器販売が減少となりました。

国内海外ともに機器販売台数や有償保守契約の増加により売上収益・営業利益は、前期を上回る結果となり、当社の強みであるメンテナンス事業を軸としたストックビジネスがさらに飛躍できる礎が盤石になりつつあると評価しています。

中期経営計画2023の概要

当社グループを取巻く国内の事業環境は、予測困難な鋼材価格の上昇、原油価格の高騰や人手不足の影響にともなう生産コスト・物流コストの上昇、世界規模でのカーボンニュートラルに向けた潮流等、先行きの不透明な状況にあります。2025年度までは、お客様の設備においてCO₂排出ゼロの新燃料への切替やその前提となるインフラの整備の実現は難しいものと見込んでおり、低炭素をメインとした設備投資需要が創造されると想定しています。また、海外の事業環境においても、各国のエネルギー事情に応じた脱炭素への取り組みが進むものと予想しています。そのようななかで、当社は国内において、事業領域を拡大しながら、トータルソ

リューション提案で需要を深耕していきます。メンテナンス事業では、ワンストップ・メンテナンスによる効率化により、ボイラ外製品の保守契約も増加し、引き続き安定した利益を確保していきます。ランドリー機器事業は、新型コロナウイルス感染症が落ち着きつつあり、経済活動が活発になることでお客様の工場稼働率が上昇し、停滞していた設備投資の再開による需要を見込んでいます。また、海外においては、省エネ提案による機器販売増加と積極的な保守契約取得で年平均成長10%以上をめざし取り組んでいきます。併せて、利益を確保しつつ、コロナ禍で抑えていた営業拠点展開や人材育成を推進していきます。

事業別定量計画

(単位: 億円)

地域	事業	2023年3月期 計画	2023年3月期 実績	2024年3月期 計画	2025年3月期 計画	2026年3月期 計画
国内	ボイラ	663	674	697	717	738
	アクア(水処理機器)	69	76	82	89	96
	船用	98	98	98	99	103
	食品機械・メディカル	133	129	135	139	144
	ランドリー	166	174	27*	19*	19*
	その他 (特機・新事業開発・環境等)	71	72	77	81	86
	国内計	1,200	1,223	1,116	1,144	1,186
海外	米州	79	102	111	120	135
	韓国	93	90	94	113	121
	中国	119	104	117	128	138
	その他(アセアンほか)	59	65	76	85	95
	海外計	350	360	399	445	489
合計	1,550	1,583	1,515	1,589	1,675	

※JENSEN-GROUPとの合併契約によりアイナックス稲本は持分法適用関連会社となることから、2024年3月期以降の連結業績予想において、アイナックス稲本の業績は上記業績に含まれていません。

事業別概要

地域	事業	戦略概要
国内	ボイラ	①工場における省エネ、CO ₂ 削減案件を調査・診断し最適なシステムの提案 (特にシェアの低い分野への展開) ②オールミウラ(+他社製品)とメンテナンスのセット販売の拡大
	アクア(水処理機器)	①純水システム→製薬業界への提案を強化 ②ろ過システム→建設工事へ施工範囲を広げ、水供給サービスの拡販
	船用	①海外造船所向け取引量拡大 ②部品ビジネスの強化(船舶業界における予防保全への取り組み)
	食品機械・メディカル	【食品機械】トータルソリューション提案の強化(ワンストップ・メンテナンス)による付加価値 【メディカル】国内産業用業界における洗浄機、低温滅菌市場の開拓
	ランドリー	①事業領域の拡大(省人化・自動化への取り組み強化) ②メンテナンス事業の進化(事業領域拡大にともなう保守メニューの確立)
海外	その他 (特機・新事業開発・環境等)	【新事業開発】コンプレッサ販売およびメンテナンスの推進 【環境】残留農業分析市場の拡大やバイオ分析市場への参入
	米州	販売店経由と直販地域の明確化および遠隔メンテナンス支援体制の整備
	韓国	高圧・大容量の蒸気ボイラ市場の攻略
	中国	ガス-ガス戦略(他社ボイラからの入れ替え)の継続
	その他(アセアンほか)	脱炭素推進企業の攻略